



しんらんとま

絵・やまだみどり



ひがしほんがんじ



親鸞さまは

今からおよそ八百年前

京都・白野の里で

お生まれになりました。

そのころ あちら こちらで

武士が

いくさをしていました。

また 地しんや

ききんがあつたり、

悪い病気も

はやっていました。

人びとは、自分のまわりで

死んでいく人を、

ただおろおろ見ているほか

ありませんでした。

こうした中で

親鸞さまは、おさない日を

すごされたのです。



親鸞さまの家でも、よの中のみだれにまきこまれ

お父さまと生き別れになりました。

そして 八才の時には お母さまも病気で

おなくなりになりました。

親鸞さまは、深い悲しみにしずまれました。

